

川俣町立福田小学校

教科名等：道徳

単元(題材)名：言葉のおくりもの(男女の協力)

学年：第6学年

実施状況

11月1日(月)の学校公開の日に合わせて実施しました。

本学級の児童は日頃から、男女仲良く学校生活を送ることができます。今後の思春期における、自分あるいは自分たちに起こりうる人間関係や思考傾向について、実際の生活場面を想起しながらその心情について考えることが大切であると考えました。

そこで本時では、「アンケートの結果」から、自分たちが異性をどのように考えているかを客観的に捉え、登場人物の姿を通して、異性であっても望ましい友情関係が大切であることを理解させることにしました。

自分たちもよい交友関係を築いていこうとする児童の反応が多くありました。

児童の感想

- ・ 何事も男子と女子で協力すること、助け合うことが「友情」だと思います。“一人はみんなのために、みんなは一人のために”これが大事だと思います。
- ・ みんなで休み時間遊んだこと、みんなで学習発表会を作り上げたことがうれしかった。これからも仲良くしていきたいです。
- ・ 性別関係なく、友だちが悩んでいる時、相談できるようにしたいです。また、昼休みに男女混合のドッジボールをしているので、また遊びたいです。



参観者の感想

- ・ 異性に対して意識し始める頃、このような資料をもとに深く考えさせることは、たいへん意義のあることだと思いました。
- ・ 授業前から、学級の雰囲気の良さが感じられるよい学級集団であると感じました。このように素直な子ども達にあって、「男女の協力、友情」という価値を正面から考え深めさせることができたと思います。また、全員が輪になって話し合う場面では、子ども達同士が積極的に率直な考えを述べ、それらをみんなが認め合っていたと感じました。

指導者の感想

日頃から、男女仲のよいクラスであり、行事や係の仕事など生活の場面で男女で協力し合うことができている。しかし、同年代の男子が、教材にあるような考え方をしたり、言動をとってしまうことがあることを考えることによって、さらに今までの関係を良くしていこうとする意志が強まったように思います。

保護者に対しては、男女の協力について「心のノート」に意見を記入していただいたが、子ども達が、現在男女が協力し合っている姿があることや、これからもこの姿を続けていってほしいという感想、意見をいただきました。

子ども達の姿を通して、地域、あるいは社会全体が、男女で協力して社会を作り上げていくという姿になっていくのではないかと考えました。